

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	政策企画部
-------	-------

【令和元年度重点目標】

重点目標	第二次上田市総合計画と上田市版総合戦略の着実な実現		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>①「上田再構築プラン」の推進</p> <p>②第二次総合計画後期まちづくり計画の策定に向けた取組</p> <p>③上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進による地方創生の取組</p> <p>④第2次定住自立圏共生ビジョンの施策管理</p>	<p>① 優先課題の具体化・実現に向けた庁内関係課との調整を継続</p> <p>② ・策定方針の決定(6月) ・総合計画審議会諮問～中間答申(8月～年度末)</p> <p>③ ・総合戦略の改訂、延長(年度内) ・交付金事業の効果、検証(5～7月 現地調査等を含む効果的検証作業実施) ・R元年度新規採択(交付金事業1) ・企業版ふるさと寄附金10万円以上</p> <p>④ 進捗状況確認と所要の見直し</p>	<p>①上田再構築プラン「7つの挑戦」の実現に向け、総合計画のまちづくりビジョン(6本の施策の方向性)との関連付けを総合計画(後期まちづくり計画)策定方針に掲げるとともに、計画的な実現を図るため令和2年度実施計画策定方針へ位置付けたほか、優先課題の具体化・実現に向け庁内関係課と協議を継続</p> <p>② ・SDGsの推進など新たな視点を盛り込んだ策定方針を庁内決定 ・庁内策定会議を設置し、前期まちづくり計画の検証、後期まちづくり計画の策定に着手 ・無作為抽出による5,000人を対象に市民アンケート調査を実施(回答者数1,914人、回収率38.3%)</p> <p>③ ・第二次上田市総合計画後期まちづくり計画策定方針に総合戦略の1年延長、一体化を位置付け ・地方創生交付金事業等の評価・検証を実施(5月) 交付金事業のうち3事業について、新たに現地調査による評価・検証を実施(7月) ・地域再生計画新規1事業の認定、地方創生推進交付金(新規1事業、継続3事業)の交付決定(4月) ・ホームページや広報うえだで寄付金受納企業の紹介と制度の周知を実施</p> <p>④幹事会、連絡協議会及び共生ビジョン懇談会の開催に向け、構成市町村及び庁内関係部局と連携を密にし、今後の取組及び平成30年度事業決算額を確認</p>
2	<p>①「学園都市構想」の具体化と推進</p> <p>②公立大学法人長野大学の改革促進</p> <p>③「信州上田学」の導入</p>	<p>① ・(仮称)学園都市構想の策定(年内)</p> <p>② ・学部学科再編構想策定の調整(通年) ・効果的な業務実績評価の実施</p> <p>・高等教育無償化対応(交付要綱策定等)</p> <p>③ ・ライフステージ毎の郷土学習支援 ・長野大学での信州学・信州上田学講座開設(通年) ・上田未来会議の開催(通年)</p>	<p>① ・構想策定に向け、まちキャン運営会議で各校の状況を把握。各校による市民向け講座を実施。(9月末現在の開催回数13回、参加人数210人) ・筑波大学山岳科学センターとの連携協定を締結(8月)</p> <p>② ・役職員との協議のほか、事務担当レベルでの定例会の場を設け、学部学科再編等の進捗状況を確認 ・評価委員会での業務実績評価に関する事務負担の軽減を図り、効率的な協議を実施(7～8月に委員会3回)</p> <p>③ ・年度末までの交付要綱の策定を目指し、高等教育無償化に関する研修会等での情報を収集 ・市内小中学校の総合的な学習の時間の中で郷土学習に関する講師を派遣するなどの取組の実践 ・長野大学で「信州上田学」に関するコーディネーターを採用し、大学での講座を実施 ・全国や地域で活躍する講師を招き、5月に信州上田学シンポジウム、6月以降は上田未来会議を開催(6～9月での開催回数4回、参加人数158人)</p>
3	<p>①ラグビーイタリア代表チームのトレーニングキャンプをきっかけとしたラグビーの創出 ・前年度を踏まえた、よりきめ細やかな受け入れ体制の確立及び観戦ツアーの実施 ・チーム来日に合わせたイタリアフェア、オペラコンサートの開催</p> <p>②ホストタウン事業による中国との文化交流の推進 ・中国文化やオリンピック選手等を紹介するイベントの開催</p> <p>③市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実</p> <p>・文化団体連携事業の開催 ・子ども文化講座、子ども文化祭の開催</p> <p>・小中学校への芸術家派遣事業 ・NAGANO国際音楽祭補助事業(高齢者施設等への芸術家派遣支援)</p>	<p>① ・9月上旬イタリア代表受け入れ、9月下旬から10月中旬観戦ツアー</p> <p>・9月中旬開催</p> <p>②年度下半期開催</p> <p>③ ・上田城跡能(8月) ・うえだ城下町映画祭(11月) ・シリーズ文化講演会(2・3月) ・子ども文化講座(1回) ・子ども文化祭(1回) ・芸術家学校派遣事業(5校) ・アトリ-コンサート等開催(7・8月)</p>	<p>① ・9/8～14の7日間、ラグビーイタリア代表のトレーニングキャンプの受け入れ体制の構築と実践。また、10/4の南アフリカ戦、10/12のニュージーランド戦について、市民向け観戦ツアーを企画、実施。(但し、10/12については台風の影響で試合自体が中止) ・9/13・14の2日間、在日イタリア商工会議所と連携し、イタリア文化を紹介するイタリアフェアを、また、9/13には、市民も出演するオペラコンサートを開催</p> <p>②後期実施に向けて、内部で協議を継続</p> <p>③ ・上田城跡能を8月24日に開催 ・うえだ城下町映画祭は、11月15、16、17日に開催する予定 ・シリーズ文化講演会は上田、丸子、真田の3地域で2・3月に開催する予定 ・子ども文化講座を10月に計画していたが台風の影響により中止 ・子ども文化祭を2月に開催する予定 ・6～9月に3校で実施済み、10月に2校で実施する予定 ・7、8月に13ヶ所でアウトリーチコンサートを実施</p>

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	政策企画部
-------	-------

【令和元年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
重点目標	選ばれる都市を目指した情報発信とシティプロモーションの戦略的な展開		
4	<p>① シティプロモーション推進指針に基づく戦略的・総合的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内連携会議を開催し情報共有と事業連携を図る</li> <li>・SNSやHP、ラジオなどを活用した情報発信</li> <li>・市民リポーターを養成し、Web「うえだ大好き」等で活用する</li> <li>・首都圏のテレビ等を活用した情報発信、東日本連携による情報発信</li> </ul> <p>② 市民と行政が結ばれる、つながる広報の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報うえだの充実</li> <li>・職員の広報力を高める研修の実施</li> <li>・SNS等の既存アカウントの整理と活用促進</li> </ul> <p>③ オープンデータ化への更なる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなオープンデータ追加及び既存のデータ更新</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内連携会議の開催(3回)</li> <li>・WEBと連携したラジオ放送の実施(毎週)</li> <li>・募集、養成(～8月) 情報発信(9月～)</li> <li>・テレビ放送4回、特別(旅)番組制作、放送</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面のリニューアルを実施(5月)</li> <li>・職員研修の実施(3回)</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が保有する各種オープンデータの公開 (R元年度：5分野)</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内プロジェクトチーム会議を9月末までに2回に開催し、各課の情報共有と連携した取組の検討の実施</li> <li>・シティプロモーション用webサイトや毎週放送するFMラジオ「うえだ大好き」を活用して積極的な情報発信を図るとともに、市民自らに上田市の魅力発信に関わってもらう「市民リポーター」制度を立ち上げ、市民に情報発信してもらう体制の構築</li> <li>・首都圏向けテレビ番組の放送を9月末までに4回、東日本連携センターを活用したPRイベントを2回実施</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙やページ構成をリニューアルして5月から月1回発行とし、情報の集約化と自治会負担の軽減の開始</li> <li>・8月に係長以上と主査以下に分け「広報デザイン術」を学ぶ研修会の実施</li> <li>・上田市メールで「行政情報ピックアップ」を新設し、今まで対応できなかった市政情報等の配信の開始</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなデータの公開に向け、担当課との協議の実施</li> </ul>
重点目標	サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進		
5	<p>①サントミュージゼの運営の検証（交流文化芸術センター運営検証委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業評価結果報告書を踏まえ、今後の施設運営のあり方や自主事業の展開について検証委員会を組織し、検証する</li> </ul> <p>②文化創造都市と「育成」事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)市内全小学校25校、9地域でのワークショップ、コンサートの開催</li> <li>(2)定住自立圏の取り組みとして、坂城町、嬬恋村、長和町、青木村、立科町でコンサートを開催</li> <li>(3)子どもアトリエ体験型プログラム等の開催</li> </ul> <p>③市民と共に歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)市民参加型事業の充実</li> <li>(2)自治連や市民団体と協働した企画展覧会の準備と実施</li> </ul> <p>④魅力ある「鑑賞」事業の推進</p>	<p>①事業の展開について年度内に検証</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)7月から2月にかけて実施</li> <li>(2)4月から12月にかけて実施</li> <li>(3)年度内に50回実施</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)7月から12月にかけて実施</li> <li>(2)農民美術・児童自由画100年展(11月～)</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)市民要望を参考とした26回の自主事業実施</li> <li>(2)8回の展覧会を実施</li> </ul> <p>⑤ホームページ、機関誌等により情報提供を行い、よりわかりやすい情報発信に努める</p> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)国県等の補助金・助成金の積極的な活用</li> <li>(2)サントミュージゼパートナーズの獲得</li> </ul>	<p>①検証委員会を組織し、1回の運営検証委員会を開催。年度内にあと4回の委員会を開催し、効果的な事業展開と、よりよい施設運営を検証するとともに今後の施設運営の方向性の検討</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)市内小学校12校でのクラスコンサート、5校でのダンスワークショップを開催</li> <li>(2)3地域(公民館)でのふれあいコンサートを開催</li> <li>(3)子どもアトリエ保育園・幼稚園の受け入れプログラム16園19回。小学校出張プログラム1校1回 講座・ワークショップ等46回実施</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)プロダンサーによるダンスワークショップ3回、市民参加のダンス公演1回実施</li> <li>(2)農民美術・児童自由画100年展の開催に向けた実行委員会を3回実施(4～9月)</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)オーケストラ演奏会、レジデントアーティストによるリサイタル、ワンコインコンサートなど音楽事業11公演、大ホールでの演劇公演1回の自主事業を実施</li> <li>(2)コレクション展(2回)、共同企画展(2回)、地元メディアとの共催展覧会(1回)の実施</li> </ul> <p>⑤広報うえだに毎月専用ページを設け情報発信。事業の紹介等を掲載した機関誌を6月に発行</p> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)国、県、(一財)地域創造等への補助金助成金等の申請を積極的な活用</li> <li>(2)1件のパートナーズ(Aパートナーズ)の獲得</li> </ul>

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]